

2.6 生物資源経済学

1. 専攻の概要

生物資源経済学専攻は生物資源をめぐる産業活動にかかわる社会経済的諸問題、およびこれらの産業発展と生態環境保全との調和に関する研究と教育を行っている。農学研究科の中で唯一の社会科学系に属する専攻で、経済学、社会学、歴史学などを基礎にする総合的・学際的研究に特徴がある。

専攻は農企業経営情報学講座（農業組織経営学分野、農業経営情報会計学分野）、国際農林経済学講座（地域環境経済学分野、食料・環境政策学分野、森林・林業政策学分野、国際農村発展論分野）、比較農史農学論講座（比較農史学分野、農学原論分野）の3講座、8分野から構成されている。

また、専攻の教官は食料・環境経済学科の学部学生の教育にも当たっている。

平成22年10月1日現在、学部学生145名（3回生以上77名）、大学院修士課程学生46名（うち留学生8名）、大学院博士課程学生45名（うち留学生13名）、日本学術振興会特別研究員3名、研究生3名（うち留学生3名）、特別聴講学生1名（うち留学生1名）が在籍している。

2. 学生数

大学院修士課程1回生	22 名
大学院修士課程2回生	26 名
大学院博士課程	45 名